

## 平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ネプロジャパン

コード番号 9421 URL <http://www.nepro.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 正彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 筒井 俊光

TEL 03-6803-3976

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	8,695	20.7	177	△5.0	91	△34.4	75	—
24年3月期第2四半期	7,202	△6.5	186	—	139	—	△199	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △11百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △158百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	2,884.31	—
24年3月期第2四半期	△7,653.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	6,402	1,577	16.8
24年3月期	7,312	1,589	13.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 1,074百万円 24年3月期 998百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	6.3	500	16.3	450	9.4	250	647.8	9,592.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	26,752 株	24年3月期	26,752 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	690 株	24年3月期	690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	26,062 株	24年3月期2Q	26,062 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成24年11月29日(木)・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に、景気持ち直しの動きが見られたものの欧州政府債務危機や尖閣諸島問題をきっかけとした中国向け輸出の減速などから国内経済に影響を与えるリスクは依然として存在しており、先行きは不透明な状況にあります。

一方、当社の主な事業分野である携帯電話販売市場は、従来型携帯電話からスマートフォンへの切り替えの流れが続き、引き続き堅調に推移しました。夏にはシニア向けのスマートフォンも発表されるなど、スマートフォンを中心としたラインアップへのシフトが進むとともに、動画や音楽等の各種サービスも充実し始めております。また、9月にiPhone5が発売され、通信事業者間の競争も激化していく一方、LTEの普及により顧客単価の回復が予想されます。

このような事業環境のなか、当社グループでは、スマートフォンの販売比率の増加による接客応対時間の長時間化の対策として、接客スキルの向上及び人員の充実を進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、以下のとおりです。

売上高は、平成23年9月9日に連結子会社とした(株)モバイル&ゲームスタジオの連結業績への寄与等により、8,695百万円と前年同期と比べ1,492百万円(20.7%増)の増収となりました。

営業利益は、携帯電話専売店及びパートナー代理店各社の販売は引き続き堅調に推移したものの、都心部の一部販売店において、周辺の競争激化から販売台数が減少したこともあり、177百万円と前年同期と比べ9百万円(5.0%減)の減益となりました。

経常利益は、一部取引先の財務状況が悪化したため、当該取引先に対する貸付債権及び営業債権に対して貸倒引当金を計上したこと等により、91百万円と前年同期と比べ48百万円(34.4%減)の減益となりました。

四半期純利益は、今後建替え予定の店舗設備等に対して減損損失を計上したことに加え、法人税等及び少数株主損失等を加減した結果、75百万円の四半期純利益(前年同期は199百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当社グループは、前第3四半期連結会計期間より、報告セグメントを「移動体通信事業」と「モバイルゲーム事業」の2つに変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

## ①移動体通信事業

当セグメントにおきましては、当社にて特定の移動体通信事業者の端末・サービスを取り扱う携帯電話専売店(キャリアショップ)、連結子会社である(株)キャリアフリーにて複数の通信事業者の端末・サービスを取り扱う販売店PiPoPark(ピポパーク)を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、携帯電話専売店は引き続き堅調に推移し、パートナー代理店ルートによる販売の増加により売上は増加したものの、都心部の一部販売店において、周辺の競争激化から販売台数が減少したことにより、売上高は7,521百万円と前年同期と比べ496百万円(7.1%増)の増収となったものの、セグメント利益(営業利益)は315百万円と前年同期と比べ107百万円(25.5%減)の減益となりました。

## ②モバイルゲーム事業

当セグメントにおきましては、(株)モバイル&ゲームスタジオにてゲームコンテンツの企画・制作を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は990百万円、セグメント利益(営業利益)は24百万円となりました。

(株)モバイル&ゲームスタジオは、平成23年9月9日より連結子会社としているため、前年同期比は算出しておりません。

## ③その他

当セグメントにおきましては、人材コンサルティング事業、IP関連機器等の販売事業を行っております。人材コンサルティング事業につきましては、連結子会社である(株)シーズプロモーション(旧(株)ネプロサービス)にて当社グループ移動体通信事業の店舗に対する人材派遣及び携帯端末メーカーから委託を受け携帯電話の販売プロモーション等を行っております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は308百万円と前年同期と比べ20百万円(6.1%減)の減収、セグメント利益(営業利益)は11百万円(前年同期は14百万円のセグメント損失)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、6,402百万円となり前連結会計年度末と比べ910百万円の減少となりました。主な要因は売掛金の減少498百万円、差入保証金の減少315百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の負債は、4,825百万円となり前連結会計年度末と比べ898百万円の減少となりました。主な要因は買掛金の減少574百万円、一年以内返済予定長期借入金の減少142百万円等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、1,577百万円となり前連結会計年度末と比べ11百万円の減少となりました。主な要因は四半期純利益75百万円、少数株主持分の減少86百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、第3四半期以降の移動体通信事業、モバイルゲーム事業の事業環境は、継続して堅調に推移すると予想しております。

当連結会計年度(平成25年3月期)の業績見通しにつきましては、連結売上高16,500百万円、連結営業利益500百万円、連結経常利益450百万円、連結当期純利益250百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	568,697	798,347
売掛金	2,252,194	1,753,236
商品	678,908	595,254
仕掛品	174,928	18,730
貯蔵品	2,960	10,232
その他	364,603	347,759
貸倒引当金	△2,853	△2,853
流動資産合計	4,039,439	3,520,708
固定資産		
有形固定資産	378,617	328,096
無形固定資産		
のれん	259,321	230,507
その他	88,939	84,159
無形固定資産合計	348,261	314,667
投資その他の資産		
差入保証金	1,269,625	954,105
繰延税金資産	932,793	865,570
長期未収入金	877,223	876,780
その他	457,337	495,444
貸倒引当金	△990,328	△952,530
投資その他の資産合計	2,546,651	2,239,370
固定資産合計	3,273,529	2,882,133
資産合計	7,312,969	6,402,841
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,548,137	973,145
短期借入金	1,208,134	1,342,906
1年内償還予定の社債	150,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	900,447	757,562
未払法人税等	45,141	21,633
賞与引当金	86,479	61,863
その他の引当金	6,496	6,496
その他	911,920	797,245
流動負債合計	4,856,756	4,010,852
固定負債		
長期借入金	503,549	469,967
退職給付引当金	111,656	116,371
その他	251,944	227,826
固定負債合計	867,150	814,164
負債合計	5,723,906	4,825,017

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	592,845	592,845
資本剰余金	345,825	345,180
利益剰余金	88,788	164,603
自己株式	△28,635	△28,635
株主資本合計	998,822	1,073,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	338
その他の包括利益累計額合計	—	338
少数株主持分	590,240	503,491
純資産合計	1,589,062	1,577,823
負債純資産合計	7,312,969	6,402,841



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	7,202,338	8,695,258
売上原価	5,370,194	6,807,485
売上総利益	1,832,144	1,887,773
販売費及び一般管理費	1,645,194	1,710,257
営業利益	186,949	177,515
営業外収益		
受取利息	15,414	2,106
受取手数料	5,674	4,641
不動産賃貸料	3,611	3,338
その他	3,269	5,238
営業外収益合計	27,970	15,325
営業外費用		
支払利息	40,444	36,682
支払手数料	2,083	1,694
持分法による投資損失	32,356	—
貸倒引当金繰入額	—	62,201
その他	228	594
営業外費用合計	75,113	101,172
経常利益	139,806	91,668
特別利益		
投資有価証券売却益	18,684	4,043
関係会社株式売却益	58,066	—
特別利益合計	76,750	4,043
特別損失		
固定資産売却損	2,843	1,000
減損損失	—	21,096
投資有価証券評価損	73,961	—
貸倒引当金繰入額	292,519	—
賃貸借契約解約損	—	1,816
その他	6,490	—
特別損失合計	375,814	23,913
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△159,257	71,798
法人税等	45,854	83,376
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△205,112	△11,578
少数株主損失(△)	△5,639	△86,748
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△199,472	75,170

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△205,112	△11,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	338
持分法適用会社に対する持分相当額	46,992	—
その他の包括利益合計	46,992	338
四半期包括利益	△158,119	△11,239
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△152,480	75,509
少数株主に係る四半期包括利益	△5,639	△86,748

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	移動体通信事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,025,023	—	7,025,023	177,315	7,202,338
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	151,447	151,447
計	7,025,023	—	7,025,023	328,763	7,353,786
セグメント利益又は損失(△)	423,074	—	423,074	△14,042	409,031

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失(△)	金額
報告セグメント計	423,074
「その他」の区分の損失(△)	△14,042
セグメント間取引消去	114
全社費用(注)	△222,195
四半期連結損益計算書の営業利益	186,949

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	移動体通信 事業	モバイルゲーム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,521,700	990,728	8,512,428	182,829	8,695,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	125,817	125,817
計	7,521,700	990,728	8,512,428	308,647	8,821,076
セグメント利益	315,225	24,707	339,932	11,564	351,496

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材コンサルティング事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	339,932
「その他」の区分の利益	11,564
セグメント間取引消去	38
全社費用(注)	△174,019
四半期連結損益計算書の営業利益	177,515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前第3四半期連結会計期間において、報告セグメントを「移動体通信事業」及び「モバイルゲーム事業」の2つに変更しております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

この変更は、平成23年9月9日付で(株)モバイル&ゲームスタジオの発行済株式の全てを取得し、当社の完全子会社としたためであります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「移動体通信事業」セグメントにおいて、今後建替え予定の店舗設備等について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,096千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月28日開催の第21回定時株主総会において、利益準備金の額の減少及び剰余金の処分に関する決議をいたしました。この結果、第1四半期連結会計期間において繰越利益剰余金が24,374千円増加し、利益準備金が23,729千円、その他資本剰余金が644千円減少しております。